

科目名	公衆衛生学	教員名	窪田 哲朗	学科等	臨床検査	必修	履修年次	3
(科目番号)	(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
				授業形態	講義	オフィスアワー	火・1	B203研究室
授業概要	新型コロナなどの感染症，地球温暖化などの環境要因の問題も含め，公衆衛生学に関わる話題は事欠かない。この授業では人々が肉体的にも精神的にも健康で，長い間充実した社会生活を送ることができるようにするために，私たちは何をなすべきか，個人，集団，国全体，さらには地球全体と，様々な視点から考察するための基本を学ぶ。将来，医療従事者として国民の公衆衛生の向上に貢献する人材となるために必要な教養，知識，考え方を身につける。							
目的・目標	目的:チーム医療を担う医療人として国民の公衆衛生の向上に寄与できる人材となるために，必要な社会医学的な知識を習得する。 目標:公衆衛生学の基本的な制度や取組みを理解し，基本的事柄を説明できるようにする。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	公衆衛生の意義，衛生統計	到達目標:公衆衛生学の概略を理解する。 学習内容:公衆衛生の意義と使命，人口静態統計，人口動態統計など					
	2	疫学	到達目標:疫学の概略を理解する。 学習内容:疫学の概念，研究方法など					
	3	母子保健	到達目標:わが国の母子保健制度の概略を理解する。 学習内容:母の健康，出産，新生児・乳児・小児の健康					
	4	学校保健	到達目標:わが国の学校保健制度の概略を理解する。 学習内容:学校保健，学校給食，学校安全など					
	5	成人保健	到達目標:近年の成人保健の概略を理解する。 学習内容:成人保健の動向，おもな生活習慣病					
	6	高齢者保健	到達目標:わが国の高齢者保健の概略を理解する。 学習内容:高齢者世帯の増加，老人保健法，介護保険法，認知症問題，フレイルなど					
	7	精神保健・その他	到達目標:精神保健の概略を理解する。 学習内容:精神・神経疾患，精神保健福祉対策など					
	8	環境と健康	到達目標:わが国の生活環境の現状を理解する。 学習内容:屋内環境，上水，下水，廃棄物など					
	9	環境問題と環境汚染	到達目標:わが国および地球全体の環境問題の概略を理解する。 学習内容:地球環境問題，大気汚染，水質汚染，公害など					
	10	感染症	到達目標:感染症に関する公衆衛生学の概略を理解する。 学習内容:感染症の流行を左右する要因，予防策など					
	11	栄養と食品衛生	到達目標:食品衛生の概略を理解する。 学習内容:栄養と健康，食品安全，食品衛生など					
	12	産業保健	到達目標:産業保健の概略を理解する。 学習内容:労働災害，労働衛生管理，特殊健康診断，トータル・ヘルスプロモーションなど					
	13	衛生行政と社会保障・社会福祉	到達目標:衛生行政，社会保障・社会福祉の概略を理解する。 学習内容:衛生行政，医療制度，社会保障・社会福祉など					
	14	国際保健	到達目標:国際保健の概略を理解する。 学習内容:国際連合，世界保健機構，世界人口，感染症，SDGsなど					
	15	環境検査法	到達目標:おもな環境検査法を理解する。 学習内容:室内環境試験，飲料水の水質試験，下水の水質試験など					
成績評価の方法・基準	中間試験と期末試験(対面・オンライン共通)							
教科書	下記のように4年生になってから購入してください。							
参考図書								
教員からのメッセージ	カリキュラム改訂により、公衆衛生学は4年生になってから学ぶことになっています。3年次に履修しても国試対策時までには忘れてしまいますし、教科書の統計の数値も1年分古くなってしまいます。したがって、4年生に進級してから最新版の教科書を購入して、旧カリの「公衆衛生学」に対応する科目である「公衆衛生学演習」を受講してください。							